

## 令和7年度姫路市大手前通り「ほこみち」活用に関するサウンディング型市場調査

### 【調査結果】

大手前通りにおける「歩行者利便増進道路（ほこみち）」制度の活用評価や、道路空間の利活用アイデア、利用の障壁となっている課題等を把握し、今後の利活用方針や効果的な行政支援を検討することを目的として、民間事業者との対話による「サウンディング型市場調査（以下「サウンディング」）」を実施しました。その結果を以下のとおり公表します。

#### 1. 実施経過

日 程	内 容
令和7年12月23日（火）	実施要領の公表
令和7年12月23日（火）～令和8年1月9日（金）	現地説明会の参加受付
令和7年12月23日（火）～令和8年1月19日（月）	サウンディングの参加受付
令和8年1月15日（木）	現地説明会の実施
令和8年1月26日（月）～2月6日（金）	サウンディングの実施

#### 2. 参加事業者

##### ① 現地説明会

5事業者

（小売業1社、まちづくり団体1社、遊具メーカー1社、サービス業（他に分類されないもの）1社、イベント業1社）

##### ② サウンディング

5事業者

（情報サービス業1社、小売業1社、まちづくり団体1社、イベント業1社、遊具メーカー1社）

#### 3. 主な調査内容

- ① 新規ほこみちエリア（駅前）追加による参入意向
- ② 既存ほこみちエリアの利用について
- ③ 新たなアイデアと、必要な行政の役割
- ④ 参入条件・支援ニーズ

4. 結果概要

対 話 項 目	対 話 内 容
<p>①新規ほこみち エリア（駅前） 追加による参入 意向</p>	<p><b>【駅前エリアの魅力・参入意向】</b></p> <p><b>（参入意向と評価）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅前エリア追加で活用の可能性は広がるが、長期一括占用は想定しておらず、スポット的（二次利用）な参加が現実的。自社で占用するより、使いたい時だけ使える方が現時点で良い。</li> <li>・ 駅前でも社会実験の良い効果を感じている。自社が使うのも賛成だが、他者が使っても人が来るなら良いという「来街効果」を重視している。</li> <li>・ 電車（JR・山電）やバスを降りてすぐ見える場所であり、ポテンシャルは非常に高い。一方で「通行はあるが滞留しない」傾向が強く、高い通行量を消費に結びつけるには認知度向上が不可欠。</li> <li>・ 明確なイベントテーマの設定や、レギュラー的な継続開催による「定着」がないと、購買行動に繋がりにくい。テーマを分かりやすくし、継続すれば集客力が付く可能性がある。</li> </ul> <p><b>（収益性と事業性の懸念）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅前ほこみちエリア追加により事業性が向上するかどうかは不明。実際の飲食イベント参加者からは「売上げが厳しい」という声も出ている。</li> <li>・ スポンサーが集まるには継続と実績が必要だが、最初は市の予算や補助によるバックアップが不可欠。</li> <li>・ 駅前エリアでは、飲食の際に「人目が気になる」という特有の課題がある。</li> <li>・ 出店料、イベント参加費、企業等のPR出展料・協賛金、キッチンカー出店料で収益化可能と考えられる。</li> </ul> <p><b>（姫路の玄関口としての役割）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利益最大化より先に、にぎわいづくり・地元貢献（姫路の街が面白い、元気づいてきたという雰囲気作り）を目的としたい。</li> <li>・ 姫路市の玄関口なので、収益の場というより「姫路をアピールする場」として使うべき。そのためには市や商工会議所のバックアップが必要。</li> <li>・ キュエルビル前の広場や通路と大手前通りが繋がることで連続性を出したい。駅北広場まで繋がるとさらに賑やかになる。</li> </ul>
	<p><b>【コンテナハウスの設置について】</b></p> <p><b>（物理的・安全面への懸念）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視界や動線の妨げになる懸念があり、物理的に通行に支障が出るような気がする。邪魔と感じる人もいるので、見せ方が重要。</li> <li>・ 消防活動空地にかかるのではないかと懸念。</li> </ul>

	<p><b>(デザインと機能性)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見た目、デザイン性は重要であり、景観面での配慮が必要。</li> <li>・ 冷暖房完備ならニーズは非常に高い。季節・天候要因を排除できる拠点として有効。</li> <li>・ 飲食利用だけでなく、子供連れが利用しやすい形や、機材置き場・拠点としての活用も考えられる。(運用ルール・導入ステップ)</li> </ul> <p><b>(導入のハードル)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 占用者が自ら設置・運営するのはハードルが高いため、市での段階的導入(実験→改善→設置)が望ましい。</li> <li>・ 設置場所や出店内容、見せ方に一定の明確なルール作りが不可欠。</li> <li>・ 商業施設間の競合や売上影響への感情的なリスクも予想される。</li> <li>・ ゆかたまつりの際の撤去・移動負担が大きな課題。</li> <li>・ 入替や清掃などの運営負担も大きい。</li> </ul>
<p>②既存ほこみちエリアの利用について</p>	<p><b>【大手前通り・ほこみちの現状評価】</b></p> <p><b>(現状分析)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ この数年で「まだ何も生まれていない」というのが率直な感想。「社会実験の延長」の感があり、将来の見通しが不明確。什器更新等の投資判断がしにくい。</li> <li>・ 理想像は人によって違い、狙いが定まっていないのが課題。</li> <li>・ イベントは盛況だが、平時は大人しく(寂しく)、利用者の数は季節による影響も大きい(春・秋は多い)。</li> <li>・ 音楽コンテンツは人を引き付ける効果があると感じている。</li> <li>・ 既にほこみち活用が日常の風景になった面もあり、外テーブルでの飲食などは良い使い方だと思う。</li> <li>・ 「ここは借りられる場所」という認知が弱い。一般市民や小規模事業者が使えることが伝わるように、現地に申込方法を分かりやすく示した方がよい。</li> <li>・ 既存ほこみちエリアの占用料は安いと思う。(テナントと比べると圧倒的に安い) それだけに“もったいない”=活用余地が大きい。</li> <li>・ 相変わらず大手前通りは沿道店舗が少なく、人を呼び込みにくい。</li> <li>・ おしゃれな大手前通りにしたい。</li> <li>・ 姫路市が駅前を良くしようとしているのはわかる。いろんな取り組みを官民が連携して行う必要がある。引き続き協力したい。</li> </ul> <p><b>(運営実務の課題)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 占用者の実務がどれだけ機能しているか疑問である。自主事業が少ないと感じる。</li> <li>・ 一時利用を検討したが、予算・人的資源の不足、日々の出店者との金銭管</li> </ul>

	<p>理が難しく断念したことがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 以前イベントを実施した際は売れ行きが想定を下回った。</li> </ul> <p><b>(回遊性の課題)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 城と街の連動（回遊）がまだ弱い。既存ほこみちエリアと駅前ほこみちエリアの連携による規模感の創出に期待している。</li> <li>・ 駅前から姫路城周辺にかけての滞留や回遊性向上において、家族層の滞留創出にまだ高いポテンシャルがある。</li> <li>・ 西側はオフィス街、東側は銀行等もあるが観光客も歩いており観光要素があって良い。</li> <li>・ 駅前側は企業・銀行が多く飲食が入りにくいが、店舗が複数軒揃えば厚みが出る。近隣からの出店誘導や近隣施設との連携、市民花壇の活用なども考えられる。</li> </ul> <p><b>(他社との連携の問題)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他社との連動が無いのが現状で、近隣事業者と連携したいと考えているが、なかなか実現できていない。（誰が音頭を取るか、管理や予算配分をどうするかが課題）</li> <li>・ 連携を作る「場」がない。</li> </ul>
	<p><b>【インフラ・設備面の課題】</b></p> <p><b>(電気・水道等設備の問題)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何をやるにも電気が必要となるが、電気容量が少ない。現状の水道・電源は「あるが使いにくい」状態で、劣化や操作の煩雑さが目立つ。メンテナンスや更新による改善が必要。</li> <li>・ 利用者への案内が難しいため、結局「発電機を持ち込んだ方が現実的」という判断になりがちである。</li> <li>・ 鍵の受け渡しなど、運用が煩雑で現実的でない部分がある。</li> </ul> <p><b>(物理的制約と天候リスク)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋根がなく、天候（雨・暑さ・寒さ）が売上の大きな阻害要因である。全面は難しいかもしれないが部分的な対策は欲しい。</li> <li>・ 北側エリアはスペースが狭く動線確保が難しい。客の並び方向も使いにくい店舗がある。</li> <li>・ 社会実験時の「やぐら」のような大きな設置物は邪魔だと感じる。</li> </ul> <p><b>(安全対策)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩道での搬入搬出が多い一方、自転車が勢いよく通るためリスクが高い。</li> <li>・ 当初計画ではイベント利用者の搬入動線まで想定が薄かったのではないか。</li> <li>・ 他都市事例（松山市）から、沿道店舗のひさしの出方、搬入車の入りやすさ等、使い勝手が良い設計が参考になる。</li> </ul>

③新たなアイデアと、必要な行政の役割

**【施策・コンテンツのアイデア】**

**(ターゲットと集客戦略)**

- ・ まずは地元民、将来的には観光客を取り込む。年齢層を絞るより、まず「立ち止まってもらう」ことが重要。
- ・ 駅前エリアではキュエルビル前広場、大手前通り、周辺店舗で連続性を持たせたイベントを実施することで、立ち止まりたくなる雰囲気づくりを狙う。
- ・ 季節に応じたコンテンツを定着するまで継続して実施する。
- ・ 北側エリアでも設置するものによっては家族層を強く引き込める。
- ・ TikTok 等での若年層向け PR を行う。
- ・ テーマ性のある物販・飲食イベントは集客に有効である。
- ・ 人前で芸を披露したい層は全国にいたので、集客の可能性はある。
- ・ 既存の北側ほこみちエリアは収益狙いよりも休憩スペースや情報発信の公共的機能が現実的である。ただし収益になりにくいので、設置主体は行政側になると想定。
- ・ 収益化（広告）案はあり得るが、大手前通りは景観・広告規制が厳しい。
- ・ 飲食のイベントは時間帯が重要。昼前からの開催が良い。午後からだどピークを外しやすい。夜の通行量はあるが帰宅動線が多く、そこで買って食べる行動につながりにくい。
- ・ テーマにより時間帯を変えるべき。（スイーツは 14 時～17 時でも売れるが、おでんは売れない。）
- ・ 事業者側は利益より PR（入会促進等）目的でも参加し得る。

**(コンテンツ案)**

- ・ 有効幅を最大限活用しつつ、大人と子どもが一緒に楽しめるあそび場、セミナー、体験コンテンツ、キッチンカー、発表会等。
- ・ 花壇や芝生を生かした仮設設備。昼間だけでなく夜のライトアップと相性が良く、カップル等の滞留も狙える。
- ・ 音楽の演奏は雰囲気づくりに有効で、賑わいに繋がる。
- ・ どのように滞留が生み出せるのか検証するために、複数台のキッチンカーによる滞留実験を実施するのも良いと思う。
- ・ 姫路城を背景にした写真等、企業側にとっても PR 価値があり、企業連携の余地はある。
- ・ カラーコーンは工事中みたいでデザイン性が悪いので、植物やベンチ等のソフトな仕切りを活用したい。通行帯とイベント帯の明確な分離は必要。

**(回遊・連携の仕掛け)**

- ・ エリアごとに休憩・滞留向きか、イベント向きかを整理する必要がある。コンセプトに沿ったコンテンツを提供すべきである。
- ・ 滞留を生み、周辺の飲食店や商店街への誘導を仕掛けたい。

- ・ 駅前広場やキューエルビル前広場などと合わせた広域的な空間活用として考えられると良いと思う。
- ・ 大手前通りで城へ行き、帰りは商店街で買い物するなど、街全体を回遊させる仕組みが必要。
- ・ 地元飲食店や習い事教室、企業等が参加しやすいプラットフォームを形成し、地域一丸となった賑わい作りを目指す。
- ・ 地元イベントや他の沿道企業ともコラボできると思う。
- ・ ゆかたまつり等の催事に対する協力もできる。可動式備品や什器なら移動や撤去も対応できる。

### 【行政に期待する役割】

#### (組織・体制の明確化、専属部署の設置)

- ・ 担当部署（マラソン運営室のような専属業務とする部署）を役所側に作ってほしい（商工会議所に設置するよりも市のほうが良い）。市の窓口をはっきりさせてほしい。
- ・ 市も「お金を出して終わり」ではなく、一緒に考える部署が必要。
- ・ 苦情・クレーム対応の受け皿も必要。
- ・ 縦割りを排した観光・交通・商業の回遊性が向上する連携施策を、市にやってもらいたい。街全体の集客・回遊支援。点ではなく、街全体へ広げる仕掛けやタイミング設定が必要。

#### (運営や連携への支援)

- ・ 資金援助の拡充と実際に運営する組織体制の構築が最重要課題だと思う。
- ・ 民間に丸投げや、事務局に任せるだけでは限界がある。市が年間予算を持ってプロポーザルで投げる構造や、事務局運営費の予算化（委託化）が必要。
- ・ ほこみちに対する本気度を示してほしい。ほこみちが続く限り、市のバックアップ体制は必要。
- ・ 自社単独には限界があり、他事業者と協力したいが、実現できていない。連携やマッチングの後押しを希望する。
- ・ 駅前事業者が集まる場や情報共有の場が欲しい。関係者間の連携スキームの構築が必要。
- ・ 行政が「種まき」をし、民間が「育てる」という認識の共有も必要。
- ・ 民間が参入しやすいよう、運営負担とリスク（天候・収支）を考慮した公募条件にしてほしい。また、北側と南側では利用ニーズが異なる。エリアによって休憩・滞留向きか、催し向きかを整理する必要がある。

	<p><b>【インフラ整備・ルール緩和への具体的要望】</b></p> <p><b>(基盤整備の充実)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電気・上下水のインフラ整備・メンテナンス（特に駅前エリア）。 （調理・加温・保冷や照明に電源容量が不足。簡易的な洗い場等の給排水環境も必要。）</li> <li>・ 水道使用時の煩雑な開栓手続きの改善（基本料の市負担など）。</li> <li>・ 発動発電機禁止ルールの緩和。（夜間イベントや調理には現状の電気容量やバッテリーでは不足。）</li> <li>・ 歩行者・自転車・事業者の動線が交錯する箇所での安全対策を強化。荷さばき等の実務的な動線計画の再整理。</li> </ul> <p><b>(備品・保管の支援)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ テント・ベンチ等の備品を市が保有し、安価に借りられる仕組みを希望。</li> <li>・ 周辺施設（イーグレ等）や地下倉庫を活用した「備品保管場所」の確保。 一般の人にはどこに頼めば借りられるか不明なため、一括案内が欲しい。</li> <li>・ 車両置場の確保。</li> </ul>
<p><b>④参入条件・支援ニーズ</b></p>	<p><b>【参入条件・支援ニーズ】</b></p> <p><b>(一括占用のリスクと資金補助の必要性)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次占用者として全体の事務局（受付・問い合わせ対応等）を担うのは、人的・金銭的制約があり難しい。</li> <li>・ 自社で占有するより、使いたい時のみ使える方が現時点では良い。</li> <li>・ 事業者にとって一括占有は天候リスクが重く、採算面でうまみがない。</li> <li>・ 現状の「大手前通り街づくり協議会が一括占有し、必要時に使う」スキームが都合良い。ただし事務局体制が作れるだけの資金支援があるなら、一括占有も検討の余地がある。</li> <li>・ 資金援助なしであれば参入可能性はほぼなし。補助金等があれば他社も本気になる。</li> <li>・ 運営費に対する補助金や、立て替えて後で精算できるような、市からの補助が必要。自前やスポンサー頼みだけでは厳しい。</li> <li>・ 市が全額負担は難しいとしても、投資に対する「一部補填」等の仕組みがあると取り組みやすい。</li> <li>・ イベント実施のための補助金制度があれば使いやすい。</li> <li>・ 一括占有しない場合、エリアによって方向性の違う活用になる恐れがある。</li> </ul> <p><b>(規制緩和と柔軟な運用)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 火気使用、遊具設置、発電機等の規制緩和や柔軟な運用ができれば前向きに検討できる。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゆかたまつり等の大規模イベント時の撤去負担が大きい。</li> <li>・ 利用増のためには、より細かな区画での貸し出しなど、使い方の柔軟性が必要。</li> </ul> <p><b>(申請事務負担の軽減)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 警察への道路使用許可申請がアナログかつ煩雑（1週間ごとの都度申請、紙運用等）で、月単位等で柔軟に運用できるようにしてほしい。</li> <li>・ この事務負担軽減が参入の条件。</li> <li>・ 行政手続きのデジタル化や簡略化、柔軟な運用を強く望む。</li> <li>・ どこが窓口（担当課）になるかを明確にしてほしい。現状は産業・観光・商工会議所など不明瞭。</li> <li>・</li> </ul>
	<p><b>【占用主体・期間・料金について】</b></p> <p><b>(占用主体のあり方)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅前エリアはエリア特性に合わせた独自の運営管理体制の構築を検討し、占用主体を分けることで責任を明確にする方が良いかもしれない。</li> <li>・ 民間企業が運営すると利用料が高くなる懸念がある。地域のまちづくり団体による運営も有効と考える。</li> <li>・ 北駅前広場と大手前通りの両方をエリアマネジメントできる親組織があった方が良いと思う。</li> <li>・ 行政・警察・地域との「通訳」役（言い方・押しどころを熟知した調整役）が必要。</li> </ul> <p><b>(占用期間)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今と同じ5年くらいが良い。ただし、1年目は準備、2～3年はテスト、4～5年で本格稼働という時間軸が必要。</li> <li>・ 20年は長すぎて、変更困難であると厳しい。「5年ごと見直し」が妥当。柔軟な撤退・変更ルールが欲しい。</li> <li>・ 昨今の物価高騰などを考えると5～7年くらいが上限だと思う。</li> <li>・ 10年や20年の長期占用は投資回収には良いが、先が読めず参入したい事業者が減る懸念がある。</li> </ul> <p><b>(占用料・使用料設定)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スポット利用の使用料を参入しやすい設定にしてほしい。出店料や企業協賛で賄える金額は、日額1万円～10万円程度。（サウンディング参加事業者によって金額の差がある）</li> <li>・ 年間50万円程度の占用料負担は重くないと考えるが、占用の条件に「毎週イベント開催」等の義務が付くと厳しくなる。</li> <li>・ 占用料減免の条件となる清掃や除草はそこまで負担ではないと感じる。</li> </ul>